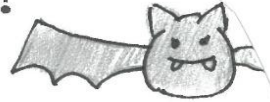


10月31日はハロウィン!!



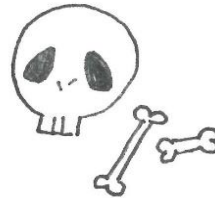
仮装をしたりカボチャを飾ったりして楽しむことで有名なハロウィンですが、皆さんはハロウィンの起源などを知っていますか？今回はそんなハロウィンについて紹介していきたいと思います。

○ハロウィンの起源とは



ハロウィンの起源は、古代ケルト民族が行っていた秋の収穫を祝うとともに悪霊を追い払う宗教儀式「サヴィン祭」であるといわれています。古代ケルトでは11月1日が新年とされており、大晦日である10月31日には先祖の霊が家族に会うために現世に戻って来ると信じられていたそうです。日本でいうお盆のような行事です！

○なぜ仮装をするのか



ハロウィンでお化けや怪物に仮装する理由は、先祖の霊と一緒に帰ってくる悪霊を怖がらせて追い払うためだそうです。

○ジャックオーランタン



かぼちゃのランタンは、「ジャックオーランタン」という名称で魔除けの役割を持ち、悪霊を追い払う力があるといわれています。

言い伝えでは、道端に転がっていたカブをジャックがくり抜いて火を灯したことが始まりといわれており、ハロウィンにおいても本来はカブでランタンを作っていたそうです。

○トリック・オア・トリート



ハロウィンでは、たくさんの子供たちが街をめぐって「トリック・オア・トリート」と声をかけながら玄関先でお菓子をねだる姿が多くみられます。子供たちがもらったお菓子には、悪霊に元の世界へ帰ってもらう魔除けが込められているそうです。

(ティーンズスタッフ：アリ)

出典:『世界の魔よけ図鑑』三国信一・土谷輪／監修 (岩崎書店)

『日本と世界の祭り Festivals from Japan and Around the World』(小学館)

ハロウィンの意味や由来・起源とは？ 仮装やかぼちゃを飾る理由など丸っと解説 | (09gi.jp)

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.
33

諫早市に
図書館が生まれて
120年
～これからも皆さまとともに～



(ティーンズスタッフ：ばばはる)

2024. 秋号 (2024. 10月 発行)



わたしたちのおすすめ本



『夜のピクニック』

恩田陸／著 (新潮文庫刊)



「歩行祭」全校生徒が 80 キロを歩き通す高校 3 年生にとっては最後の行事。友人と歩いたりクラスメイトと歩いたり。ただ歩くだけ、それなのに特別な思い出になる。貴子はひそかに賭けをしてこの行事に参加した。果たして、歩き終わったあとには何があるのか。

(ティーンズスタッフ：深緑)



『車夫』

いとうみく／作 (小峰書店)

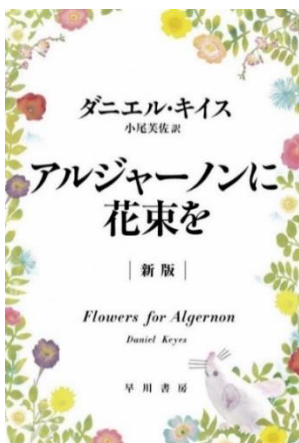


家庭の事情で打ち込んでいた部活も学校もやめなければいけなくなった高校 2 年生の吉瀬走。部活のOBの前平さんにつれてこられたのは人力車の車夫の会社『力車屋』で…。走も前原さんも力車屋の同僚たちも人力車に乗るお客さんもそれぞれの過去を抱えて今を歩いている。過去を抱えながら歩いていく姿に励まされる本です。この本は一章ごとに話し手が変わっていくことが特徴で力車屋の人たちや人力車に乗った人から見た走を見ることができる魅力的な一冊です!ぜひ読んでみてください!!

(ティーンズスタッフ：よつば)

『アルジャーノンに花束を』[新版]

ダニエル・キイス／著 小尾芙佐／訳 (早川書房)



もしもあなたがある日突然天才になったら周囲の人たちはどんな反応をすると思いますか? この物語は幼児ほどしか知能を持たない青年・チャーリーがある日大学の教授から、頭をよくするという申し出をうけるところからはじまります。チャーリーは賢くなることで今までの生活がもっとよくなると思っていましたが、現実はどうもいきませんでした、、、。ドラマ化もされたこの作品、知っている方も多いのではないのでしょうか。最後の一文には誰もが涙する言葉が待っています。読書の秋にぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

(ティーンズスタッフ：ししゅも)



『青春サプリ。この一瞬にすべてを 心が元気になる、5つの部活ストーリー』

日比野恭三ほか／文（ポプラ社）



私が紹介する本は「青春サプリ。この一瞬にすべてを」です。この本のシリーズは実話の部活の出来事を小説にしています。

愛媛県立高校の書道部は書道パフォーマンス甲子園で予選を突破して全国大会に出場することを夢んでいます。その目標に向かって、ただ大きな紙に墨で文字を書くだけでなく声を出すパフォーマンスを入れるなどの工夫をします。私がこの書道部を紹介した理由は、嫌なことは嫌だと言った人物に心を惹かれたからです。

3年生の三宅瑠偉は声を出してパフォーマンスをすることを嫌がっていて顧問の福本先生に「やりたくない」と伝えた場面があります。

そんな瑠偉さんのことを私は勇気がある人だと捉えました。私は自分の気持ちを相手に伝えることが苦手だからです。高校生だからだという部分もあると思いますが、自分が思ったことを相手に伝えることはその分勇気を出すことだと感じました。つらいことがあっても諦めずに、瑠偉さんのように勇気を出せる人になりたいと思いました。（ティーンズスタッフ：蟹座）



『スマイル・ムーンの夜に』

宮下恵菜／著（ポプラ社）



この本には、麻帆、沙羅、翔太、のぞみという4人の中学生が登場する。4人にはそれぞれ「人間関係」、「進路」、「親」などの悩みがある。10代だからこそ悩むこの3つについてこの本には書かれており、この4人は自分の思いと向き合いながら未来に進んでいく。この本は「始まりの本」だと私は思う。悩んだり、不安になったり、落ちこんだりしてなかなか踏み出す一歩が出ないとき、この本をぜひ読んでほしい。（ティーンズスタッフ：ジンベエ）

